

## 協会からの 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祝日は  
繰り下げ発行となります。



## (一社) 日本林業協会 令和7年度第12回定時総会において 全議案を原案通り承認

(一社) 日本林業協会は、2月25日(火)に航空会館大ホールにおいて、令和7年度定時総会を開催し、令和7年度事業計画、収支予算書等の議案について審議を行い、すべて原案通り承認されました。

総会においては、<sup>しまだ たいすけ</sup>島田泰助会長の挨拶の後、<sup>あおやまとよひさ</sup>青山豊久林野庁長官のご祝辞をいただきました(いずれも後添参照)。議案の最後には、役員交代(案)が審議され、4名の理事が新任されました(後添参照)。総会終了後には恒例の『2025年度「ミス日本みどりの大使」』に選ばれた佐塚こころさんの紹介(添付参照)があり、佐塚さんから挨拶と今後の活躍の場の紹介・提供についてのお願ひがありました。

## 目次:

(一社) 日本林業協会 令和7年度 第12回定時総会において 全議案を原案通り承認	1 ~ 4
『2025ミス日本みどりの大使』 の紹介	
自民党合同会議において 木材利用状況をヒアリング	5 ~ 7
国会・業界 行事日程(2月)	8 ~ 10



冒頭に挨拶する島田会長



祝辞を述べられる青山林野庁長官

<島田会長の挨拶>

年度末を控え、会員の皆様には大変お忙しい時期に総会にご参加をいただき御礼申し上げます。

また、林野庁からは国会開催中でもあり公務大変お忙しい中、青山林野庁長官、小坂次長、清水林政部長、長崎屋森林整備部長、眞城国有林野部長様はじめ大勢の林野庁幹部の皆様にご臨席をいただいております。心から感謝申し上げます。

本日の定時総会におきましては、令和6年度の事業報告、決算、令和7年度の事業計画及び収支予算及び役員改選等についてご審議をいただく予定です。

令和6年度の事業については、後程詳しく報告させていただきますが、円安、物価の高騰など社会・経済活動が変動する中で、概ね計画に即して実施できてきたものと考えております。

とりわけ、昨年末に決定された令和6年度の大型補正予算に加え、7年度の予算概算決定並びに税制改正につきましては、林野庁の皆様のご尽力のお陰で大きな成果を上げることができたところであり、関係団体の皆様にも、自民党での予算や税制に関する会議や要請活動等にご参加いただき働きかけを行っていただいたことに感謝申し上げます。

令和7年においても、地球環境問題や頻発する異常気象の下での災害などを背景にした森林・林業への関心の高まりの下、我々団体としては、災害に強い森林づくりや循環型林業の実現、林業の成長産業化など避けて通ることのできない課題に対し自民党や林野庁の力をお借りし、必要な制度・予算の実現に向け、積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

特に、林業界にとって最大の課題となっている山元への利益還元による持続的森林経営の確立に向けては、森林所有者が経営意欲を持って取り組める立木価格水準の実現へ向け、具体的な推進方策の実施に早急かつ大胆に取り組んでいかなければならないと考えております。

我々林業協会をはじめとした関係7団体で3年前に署名・公表した「共同行動宣言」においても「持続性の担保されない木材は使わない」という世の中の大きな方向の転換を働きかけていくこととしたところですが、こうした目標の実現に向け一歩でも前に進めるよう、会員の皆様の知恵もお借りしながら更に取り組んでいくこととしたいと考えています。皆様の一層のご理解・ご協力をお願いしたいと考えています。

今後とも林業協会としては、積極的な情報提供や各団体間の交流・連携に向けた働きかけ等に努めていきたいと考えておりますので、引き続き関係の皆様のご支援をお願いする次第です。

本日は、限られた時間ではございますが、会員の皆様には熱心なご審議、議事の円滑な進行へのご協力をお願いするとともに、会員各団体のさらなるご発展とご臨席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ御挨拶といたします。本日はよろしく申し上げます。

＜青山林野庁長官のご祝辞＞

一般社団法人日本林業協会の定時総会の開催に当たり、一言ご挨拶いたします。

ご列席の皆様方には、日頃から森林・林業・木材産業行政全般にわたり、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、近年、地球温暖化の影響等により大規模な災害が頻発しており、国民の生命・財産を守るため、引き続き、森林による防災・減災、国土強靱化に向けて、森林整備や治山対策を強力に推進してまいり所存です。

また、我が国の森林資源は本格的な利用期を迎えており、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用のサイクルを確立し、2050年のネットゼロ、即ちカーボンニュートラルの実現と地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していくことが重要と考えており、非住宅分野をはじめとして国産材の需要拡大をより一層進めていくとともに、林業における所得向上や林業従事者の確保・育成を通じて、国産材の安定供給を図っていくことに加え、現在、森林経営管理制度について、森林の集積・集約化がさらに促進されるよう見直しを行い、この通常国会への法案提出に向けて検討を進めているところです。

さらに、持続可能な森林経営に向けては、林業協会が中心となって関係7団体で宣言された、令和4年6月の共同行動宣言「時代の要請に応える国産材の安定供給体制の構築に向けて」も踏まえつつ、昨年12月にオープンな立木価格形成を目指す「立木市場」が立ち上がるなど、民間主体の取組が始動していると承知しているところです。

林野庁においても、持続可能な国産材供給体制の構築に向け、引き続き全力で取り組んでまいりますので、会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、日本林業協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念申し上げますとお祝いの言葉といたします。

一般社団法人日本林業協会 役員名簿

令和7年2月25日

役員名	常勤・非常勤	氏名		職名	
会長	常勤	島田 泰助	学識経験者		
副会長	非常勤	本郷 浩二	(一社)全国木材組合連合会	副会長	
〃	〃	中崎 和久	全国森林組合連合会	代表理事会長	
〃	〃	沼田 正俊	(一財)日本森林林業振興会	会長	
〃	〃	津元 頼光	(一社)日本治山治水協会	専務理事	
専務理事	＜兼務＞	島田 泰助	学識経験者		
理事	非常勤	堂本 整	(一社)日本林業土木連合協会	専務理事	
〃	〃	吉川 重幹	(一社)日本林業経営者協会	会長	
〃	〃	中原 丈夫	日本林業同友会	副会長	
〃	〃	永田 信	(公社)大日本山林会	会長	
〃	〃	中山 聡	(一社)全国林業改良普及協会	専務理事	
〃	〃	織田 央	(公社)国土緑化推進機構	専務理事	新任
〃	〃	原田 隆行	日本製紙連合会	常務理事	
〃	〃	宮澤 俊輔	(公財)日本住宅・木材技術センター	理事長	新任
〃	〃	江坂 文寿	(一社)全国森林土木建設業協会	専務理事	新任
〃	〃	金山 誠	全国水源林造林協議会連合会	常務理事	
〃	〃	矢野 彰宏	全国国有林造林生産業連絡協議会	専務理事	新任
〃	〃	吉野 示右	(一財)日本木材総合情報センター	業務執行理事	

(理事17名 順不同)

役員名	常勤・非常勤	氏名	所属団体	職名
監事	非常勤	齋藤 正	全国林業研究グループ連絡協議会	会長
〃	〃	高原 繁	(公財)国際緑化推進センター	専務理事
〃	〃	高野 敦	埼玉県林業協会	専務理事

(監事3名 順不同)



## 佐塚 こころ SATSUKA Cocoro

「学ぶことが大好き」 資格検定などを通じて目標に向けて勉学を進めることはもちろん、調査や実体験を得ることが大好きです。

長野県佐久穂町という農山村地域に生まれ、祖父が猟師であること、また地元林業関係者により構成される「さくほ森の子育成クラブ」により、小4から中1まで一貫した林業キャリア教育を受ける機会がありました。佐久穂小学校では緑の少年団に所属。学校林での植樹活動が思い出深いと話します。祖父は長野と北海道で狩猟をしており、祖父を通じて山や獣との共生を考える機会に恵まれました。

高校生の時にグアム大学に訪問した際、英語で書道を教える機会がありました。その時、聴覚障害の生徒に出会います。「もし私が手話を使えたら、もっと多くのことを伝えられるのに」と考え、それから手話の勉強に打ち込み始めました。いまの目標は、2025年に開催されるデフリンピック大会にボランティア参加し、聴覚障害や手話への理解を多くの方々に広げることです。

資格取得は英検準1級、漢検準1級、日本語検、日本史検、硬筆検、毛筆検、秘書検、数検などなど、合計8種の資格を取得してきました。現在は手話を独学で学びつつ、さらに他の資格にも挑戦中です。

将来の希望は、障がいや言語の壁に囚われないアナウンサー。人前でお話することに物怖じせず、どんどん挑戦していきます。

一般社団法人ミス日本協会 TEL 03-5323-0781

〒160-0023東京都新宿区西新宿2-2-1京王プラザホテル南館9階



## ミス日本とは

ミス日本コンテストは、**日本らしい美しさ**を備えた女性を育成・輩出し、より良い社会を築くことを目指しています。

1950年に第1回が開催され、日本で最も歴史あるコンテストです。審査では外見はもちろん、**教養などの内面や、将来の目標への努力・行動を重視**しております。そのため、出場者には日本の歴史や道徳、お能やお茶、浮世絵など30講座にも及ぶ勉強会が提供されており、**育成の性格を持ったコンテスト**です。

これまで芸術、学問、ビジネス、政治、アナウンサーや女優、モデルなど様々な分野で活躍する女性を多数輩出し、受賞者たちの将来に期待がかかります。

## 2025ミス日本みどりの大使



未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取り組みや、生活に根ざした日本の木の文化の大切さと素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

※2015年より創設



生年月日	2006年 1月18日生まれ
出身地	長野県佐久穂町
職業	国際基督教大学教養学部 1年
サイズ	T 158 Shoes 23.0
特技	手話/英会話/資格取得(英語検定など8種)
趣味	独学/多様な人と関わること/旅行
将来の希望	障がいや言語の壁に囚われず全ての人に情報をお届けできるアナウンサー
座右の銘	100点と99点の差は1点じゃない/事上磨練

## 自民党総合農林政策調査会、農林部会、林政対策委員会合同会議 において、令和5年度の国の機関での木材利用状況などについて 各省庁からのヒアリングを実施 ＜令和4年度に続き木造化率100%を達成＞

3月6日（木）13：30から自民党本部901号室で恒例の全省庁ヒアリングが開催され、鈴木英敬・林政対策委員会事務局長の司会進行により、宮下一郎・総合農林政策調査会長の挨拶、上月良祐農林部会長の挨拶、田野瀬太道・林政対策委員長の挨拶が行なわれた後、議事に入りました。

まず、議題1として、『令和5年度 国の機関における木材利用の状況について（報告）』について、青山林野庁長官、清水林野庁林政部長、難波林野庁木材利用課長から説明が行われました。特に、「国が整備する公共建築物のうち積極的に木造化を促進するとされた公共建築物の木造化率の推移（表1、2）」において、令和4年度に引き続き令和5年度も100%が達成されたとの報告がありました。併せて、木造化になじまないと判断された6棟の理由が説明されました。

続いて、議題2として、『令和6年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ（案）について（報告）』について、難波林野庁木材利用課長から説明が行われました。特に、『都市の木造化推進法』に基づく「建築物木材利用促進協定」の実績として、「国及び事業者等の協定」が25件（令和6年12月時点）、「地方公共団体及び事業者等の協定」が146件（同）について、事例を含めた報告が行われました。

その後質疑応答に入り、出席された議員から相次いで質問が出されました。主な意見・質問は以下の通りです。

- 木造化100%時代が到来し喜ばしいが、国産材率が70%に低下したこと、その分木質化の割合が増えている理由は何か。地方での取組みが遅れている。徳島県の「awaもくよんプロジェクト」などの普及が重要。
- 公共建築物だけでなく民間建築物に広げていくためには「木造化」が難しい条件をどのようにクリアしたのか深掘して分析しないと横展開しない。企業や地方公共団体を対象とした公共建築物の視察や見学会などを実施して拡大していくべき。そのような取組みをやっているのか。
- 「横架材での利用が国産材では難しい」との説明だったが、そういう課題にこそ取り組むべき。
- 木造・木質化に対する各省の補助制度の効果について明確にされたい。
- 「木造化率100%」の根拠となる分母は何か。工期と予算が壁というが具体的な内容を教えて欲しい。
- 例えば農林水産省では、対象となる公共建築物24棟のうち、14棟が木造を促進するものとされているが、除外されている公共建築物10棟とはどのような施設で、何故外れているのか理由を聞きたい。
- 広葉樹に対するニーズを耳にするが、需要が増えているのか、動向を知りたい。家具の需要もあるのではないか。
- 20年以上前にガードレールを木造で、という動きがあったが現状はどうか。
- 地方自治体が建築した木造の「避難所」の解体後の再利用をどのように考えているか。災害時の仮設住宅の解体後の利用についても教えて欲しい。
- マクドナルドの例は良い。同じ業界の他のグループ、例えばJRだけでなく、私鉄企業にも働き掛けして横展開することが重要。同じく公立の学校だけでなく私学にも働きかけるべき。木造の学校ではインフルエンザの罹患率が下がるなどの効果ももっとPRすべき。「コンシェルジュ」をもっと活用すべき。協定ももっと増やすべき。

- 補助の優先採択など協定締結のメリットを具体的に示すべき。WTO違反にならないためには「地域材」と言えば問題ないのか、明確に回答して欲しい。
- 2010年の法律制定以来、各省の実績が「格段に向上し驚くとともに高く評価できる。地域での実績をもっと上げて欲しい。また、木材を燃やすのはいかがか。やはり建材などとして利用するのが第一。

それぞれの質問・意見に対して関係する省庁から回答がなされるとともに、十分な説明ができなかった事項については個別に対応すること、提案のあった今後の取組み事項については林野庁・国交省による各省等への一層の働きかけを行う旨が説明され、70分を超える合同会議を終えました。

注：合同会議の資料については当協会にお問合せください。



冒頭挨拶される宮下総合農林政策調査会長



挨拶される上月農林部会長



挨拶される田野瀬林政対策委員長



質疑の様子

## &lt;表1&gt;

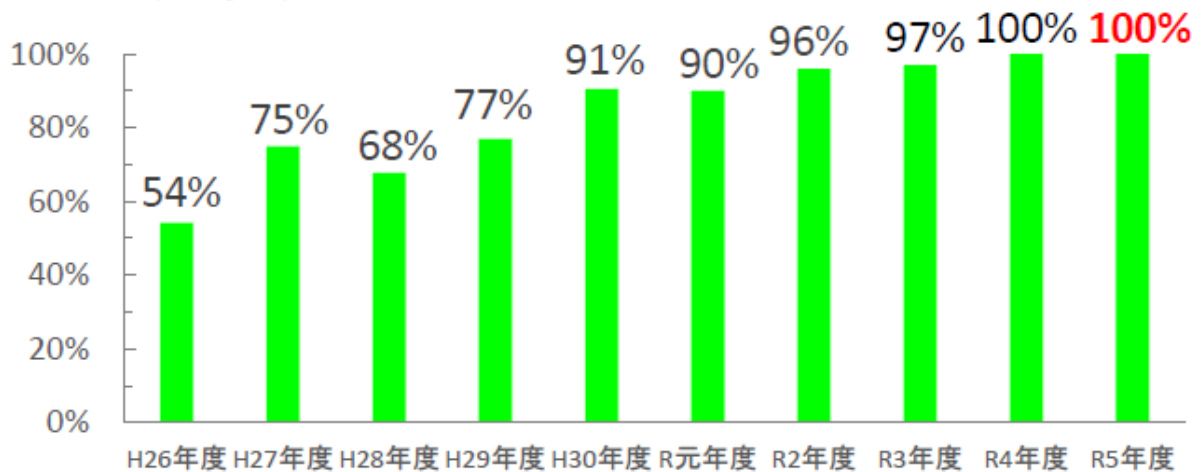
## ◎ 国が整備する公共建築物での木材利用推進状況

木造化された公共建築物	79棟
内装等の木質化を行った公共建築物※1	153棟
木造化・木質化で使用した木材量	4,668m <sup>3</sup>
うち、国産材使用量	3,292m <sup>3</sup>

※1 木造化された公共建築物の棟数は除いたもので集計

## &lt;表2&gt;

## ◎ 国が整備する公共建築物のうち積極的に木造化を促進するとされた公共建築物の木造化率の推移※2



※2 検証チームによる検証結果を踏まえた木造化率

$$\text{木造化した公共建築物数} \div \text{検証結果を踏まえた積極的に木造化を促進するとされている公共建築物数} \times 100$$

## 令和 7年 2月 国会の動き

- 3日(月)衆 予算委  
令和7年度総予算 基本的質疑(2日目)
- 4日(火)衆 予算委  
令和7年度総予算 基本的質疑(3日目)
- 5日(水)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(省庁別審査)  
(1日目)
- 6日(木)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(省庁別審査)  
(2日目)
- 7日(金)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(省庁別審査)  
(3日目)
- 10日(月)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(4日目)
- 12日(水)参 本会議  
婦朝報告・質疑(総理出席)
- 13日(木)衆 本会議  
婦朝報告・質疑(総理出席)
- 13日(木)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(5日目)
- 14日(金)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(6日目)
- 17日(月)衆 予算委  
令和7年度総予算 集中審議(我が国を取り巻く外交・安全保障問題等)
- 18日(火)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般的質疑(7日目)
- 20日(木)衆 予算委  
令和7年度総予算 一般質疑(8日目)
- 21日(金)衆 予算委  
令和7年度総予算 集中審議(経済財政等)
- 25日(火)衆 予算委  
令和7年度総予算 中央公聴会
- 26日(水)衆 予算委  
令和7年度総予算 集中審議(教育・社会保障等)
- 27日(木)衆 予算委  
令和7年度総予算 分科会(1日目)
- 28日(金)衆 予算委  
令和7年度総予算 分科会(2日目)

## 令和 7年 2月 業界の動き

- 5日(水) 自伐型林業推進協会  
10周年イベント「森の未来を紡ぐ旅」をイイノホール(東京都千代田区)で開催
- 5・6日(水・木) 林野庁  
令和6年度林業イノベーション現場実装シンポジウムを東京都で開催
- 6日(木)「森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進議連」  
東京都千代田区の自民党本部で総会を開催。新会長に金子恭之氏、幹事長に宮下一郎氏、事務局長に鈴木憲和氏、事務局次長に田野瀬太道氏を選出。
- 7日(金) 林野庁  
「山村と企業をつなぐフォーラム」を木材会館(東京都江東区)で開催。基調講演の後、TDKラムダ(株)と大成建設(株)における森林の活用事例紹介や調査報告  
国際緑化推進センター  
オンラインで途上国森づくりワークス：植えるを視える化を開催  
富士岡山運搬機(株)が運営する富士フォレストサポート  
「伐採搬出・再造林ガイドライン全国連絡会議ミニサミット」を岡山県津山市で実施。「再造林を考える」をテーマに全国連絡会議事務局長の神園公博氏が事例紹介のほかパネルディスカッション
- 12日(水) 全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会  
「全国銘木展示大会」を岐阜県各務原市の(株)小林三之助商店各務原土馬で開催
- 15日(土) 林業経済学会・しもつけ流域の会  
研究会Box「森林と女性のライフコース」を栃木県宇都宮市で開催。ミニ講演とリレートークとワークショップを実施



## 令和 7年 2月 国会の動き

## 《政党関連》

- 4日（火）公 能登半島地震復興加速化本部  
石川県本部 団体政策要望懇談会（1/26開催）で出た要望事項について関係省庁と質疑応答
- 4日（火）自 政調、所有者不明土地等に関する特別委員会
- ①令和7年度予算・税制改正について（所有者不明土地対策関係）
  - ②老朽化マンション等の管理及び再生の円滑化等を図るための建物の区分所有等に関する法律等の一部を改正する法律案、森林経営管理法及び森林法の一部を改正する法律案について
- 5日（水）公 外国人材の受入れ対策本部  
改正法（特定技能制度・育成就労制度）に係る省令案の論点について
- 6日（木）公 農林水産部会
1. 漁業災害補償法の一部を改正する法律案（条文）について
  2. 森林経営管理法及び森林法の一部を改正する法律案（骨子）について
  3. 合理的な価格形成についての検討状況
- 7日（金）自 政調、総合農林政策調査会・農林部会合同会議  
森林経営管理法及び森林法の一部を改正する法律案（骨子）
- 12日（水）公 農林水産物等の輸出促進に関するPT
1. 2024年農林水産物・食品の輸出実績（農水省より報告）
  2. 農産物等の輸出拡大に向けて事業者ヒアリング
- 12日（水）公 豪雪地帯対策推進PT、復興・防災部会合同会議  
今般の豪雪状況について省庁よりヒアリング
- 13日（木）自 政調、総合農林政策調査会・農林部会合同会議
- （1）森林経営管理法及び森林法の一部を改正する法律案（条文）
  - （2）食品等の流通の合理化及び取引の適正

## 令和 7年 2月 業界の動き

- 19日（水）森林総合研究所  
拡大するナラ枯れへの取組みとこれからの樹林管理」をテーマに講演会を実施

## 令和 7年 2月 国会の動き

化に関する法律等の一部を改正する法律案  
(骨子)

13日(木) 自 政調、災害対策特別委員会・豪  
雪地帯対策に関するPT合同会議

1. 令和7年2月4日からの大雪に係る被害状況等について
2. 豪雪地帯の地方公共団体からヒアリング(リモート出席)

14日(金) 公 農林水産部会

1. 森林経営管理法及び森林法の一部を改正する法律案(条文)について
2. 食品等の流通の合理化及び取引の適正化に関する法律及び卸売市場法の一部を改正する法律案(骨子)について

14日(金) 自 詳細を見る閉じる

政調、北海道総合開発特別委員会「ゼロカーボン北海道」推進本部北海道における日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策の推進に関

(1) 令和7年度当初予算案について

1. 北海道開発予算案について
2. アイヌ政策関係予算案について
3. ゼロカーボン北海道に係る予算案について

(2) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策について

(3) その他

・手稲山地区地すべり対策について

19日(水) 自 国土強靱化推進本部

1. 国土強靱化実施中期計画の策定方針について
2. 国土強靱化施策の進捗状況及び主要な施策のKPI(長期目標)について
3. 大規模地震に関する被害想定等について

20日(木) 自 政調、山村振興特別委員会

令和7年度 山村振興関係予算概算決定について

20日(木) 自 政調、山村振興特別委員会・総合農林政策調査会・農林部会合同会議

山村振興法の一部を改正する法律案(条文)

20日(木) 自 政調、山村振興特別委員会・総

## 令和 7年 2月 国会の動き

合農林政策調査会・農林部会合同会議

1. 今後想定される大規模災害(南海トラフ地震、首都直下地震等)
2. 災害対応に係る現在の体制等(組織の変遷、防災DX)
3. 内閣府防災担当の令和7年度予算案、組織・定員拡充案【報告】
4. 災害対策関連法制の見直し【報告】

20日(木) 公 農林水産部会

1. 荒廃農地の現状と課題(農林水産省よりヒアリング)
2. 荒廃農地の優良農地化について事業者ヒアリング
3. 山村振興法の一部を改正する法律案について
4. 棚田地域振興法の一部を改正する法律案について

28日(金) 自 国土強靱化推進本部 南海トラフ地震対策検討委員会

南海トラフ地震対策の現状について

1. 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループにおける検討状況について
2. 南海トラフ地震に関する各種シミュレーションについて